

〔正賞 社会文化部門〕

1. 氏名 もり・ひろこ
 森 弘子 氏
2. 年齢 80歳
3. 肩書 歴史研究家
4. 住所 福岡県太宰府市

※年齢は2026年11月3日時点



【受賞理由】

宝満山をはじめ古都大宰府の歴史、宗教、民俗学の調査、研究に長年にわたって取り組み、著書や各種論文、論考を精力的に発表してきた。2008年の博士論文「宝満山の環境歴史学的研究」は全国の忘れ去られた霊山の信仰史を調査・復元する上での重要な実践研究業績となっている。

こうした学術的業績にとどまらず、太宰府発見塾や大宰府アカデミーなど市民参加型の活動に積極的に関与したことも特筆される。1981年創設の古都大宰府を守る会（現・古都大宰府保存協会）による史跡解説ボランティアの育成は、市民自ら史跡の素晴らしさを伝える取り組みの全国的先駆けとなった。地域の文化的アイデンティティーの核といえる文化財や行事、習慣、伝承の大切さを市民に分かりやすく伝え、その保存・活用に貢献した功績は大きい。

【主な経歴】

1969年 京都女子大学文学部東洋史学科卒業（日本史専攻）
 太宰府天満宮文化研究所研究員

1981年 財団法人古都大宰府を守る会文化部長（1994年古都大宰府保存協会に改称、97年退職）

1985年 太宰府市史編纂委員、87年編集委員

1995年 フランス国立極東学院 日仏共同研究員

1998年 西南学院大学非常勤講師、以降九州産業大学などの非常勤講師や筑紫女学園大学客員教授を歴任

2005年 太宰府発見塾塾長

2006年 九州大学大学院人間環境学府博士後期課程単位取得退学

2009年 日本山岳修験学会賞（「宝満山の環境歴史学的研究」）

2010年 福岡県文化財保護審議会委員（現会長）

2023年 大宰府アカデミー副学長（現顧問）

単著に「宝満山歴史散歩」（葦書房、1975年）、「西高辻信貞 わがいのち火群ともえて」（太宰府天満宮・西日本新聞社、1988年）、「太宰府発見」（海鳥社、2003年）、「大宰府と万葉の歌」（海鳥社、2020年）、「博多のくらし」（海鳥社、2023年）など。共著、編著は「てんじんさま」（西島伊三雄画）、「画文集太宰府」（長野ヒデ子画）、「古都大宰府 保存への道」（古都大宰府保存協会）など多数。

ほかに、万葉集「梅花の宴」のジオラマ考証や古代食再現、九州国立博物館の無形民俗文化財映像アーカイブス49作品の監修など活動は多岐にわたる。福岡県を中心に文化財保護関係の審議会、有識者会議等の委員も多数歴任。